

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成28年 4月 1日 策定

令和元年 7月12日 修正

成果報告 令和2年 5月 31日 報告

担当課

住宅課

補助金等の名称	定住化促進支援事業補助金(近居・同居住替支援事業補助金)
---------	------------------------------

予算科目	一般会計	款	7	項	4	目	1
予算事業名	住生活基本計画推進事業						
実施計画の位置づけ	良好な住環境の整備に努めます						

補助金分類		
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし	22,500 千円
交付先	個人	
支出根拠規定	佐倉市近居・同居住替支援事業補助金交付要綱	

補助の目的	将来人口の推計を見ると人口の減少、少子高齢化がさらに進行する見通しとなっていることから、離れて暮らす親世帯及び子世帯が近くに住み替える際の初期費用の負担軽減を図ることにより、高齢期及び子育て期を安心して過ごすための住み替えを支援し、快適で活力のあるまちづくりに寄与します。
補助の効果	子育て世帯と親世帯が近居・同居することで、定住人口の維持・増加を図ります。
補助対象事業の 具体的内容	親と子が近居・同居する際の住宅取得費用に係る経費の1/2以内(上限50万円)を交付する。 ※子世帯が18歳未満の子どもを3人育てている場合、10万円を加算 (住宅取得契約日から1年以内かつ年度末までに移転が完了すること)
対象経費及び補助率	(対象経費) 親族以外から取得した住宅取得費用 (補助率) 対象経費の1/2以内の額とし、50万円を限度とする ※子世帯が18歳未満の子どもを3人育てている場合、10万円を加算
補助金額の根拠	佐倉市中古住宅リフォーム支援事業とのバランスを考慮し、上限を50万円とした。 (うち、45/100は国補助)
備考	
1/2を超えて補助、設 立5年を超えて運営費 補助する理由	
その他	
補助期間	

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課		住宅課	
補助金等の名称		定住化促進支援事業補助金(近居・同居住替支援事業補助金)			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	成果達成状況の分析と今後の方策				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	7,000	50万円 × 14件		7,000	14件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	補助金受付開始後、9月中旬には予算額14件の申請があり、受付を終了しました(達成率約100%)。その後も多数の問い合わせがありました。次年度以降も、補助件数を増やし、定住化促進、地域活性化を図ります。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	15,000	50万円 × 30件		27,500	55件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	当初予算の30件分については、5月15日から6月15日までに申請額が予算額を超えた為、抽選を実施し、交付決定を行いました。さらに追加補正にて30件分の予算を確保した結果、抽選に落ちた方を含む55件の補助を行いました。引き続き定住化促進、地域活性化を図ります。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	30,000	50万円 × 60件		42,000	84件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	11月1日に事業の拡充(近居範囲2Kmの廃止)により、当初予算の60件分については、申請額が予算額を超えた為、2月議会では不足分については補正予算を組み、84件の補助を行いました。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	40,000	50万円 × 80件		65,400	130件の補助を実施
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	当初予算の80件分については、申請額が予算額を超えた為、不足分については8月議会及び2月議会の2回に渡り補正予算を組み、130件の補助を行いました。				
計画期間終了後の最終的な目標値		定住人口の維持・増加を目指す			
計画期間終了後の最終的な成果値		定住人口の維持・増加が図られている			